

創造力とコミュニティ研究会

第10回:コロナウィルスと文化支援

2020年度は、おそらく人間の価値観を大きく変えてしまった年として記憶されるはず。世界中で経済活動のみならず、文化・芸術活動も停止を余儀なくされました。そんな時、いち早く芸術緊急支援に乗り出したのは、ドイツとイギリスでした。「アーティストは、今、生命維持に必要不可欠な存在だ。」3月23日にそう述べたのは、ドイツ連邦政府のグリュッター文化大臣でした。

国による、そして国民による文化・芸術のとらえ方の違いが明らかになったのもこのパンデミックのなせる業です。わが国では、どのような政策がとられているのか。アーティストたちへの影響はどんなものなのか。今回は、そんなお話をアーティスト支援を行っているNPO法人「あっちこっち」代表の厚地さんとチェンバロ奏者の若狭さんに伺いたいと思います。

●**話題提供者: 厚地美香子 NPO法人「あっちこっち」代表**
若狭英雄 (チェンバロ奏者)

●**日時: 2020年11月17日(火)19:00~21:00**

●**場所: 居場所「カドベヤ」**

横浜市中区石川町5丁目209-3 1階

<http://www.kadobeya2010.net/access/>

●**参加費無料 参加定員 10名**

今回は、コロナウィルスの感染予防のため、申し込み先着10名様のみ限らせていただきます。申し込みなしでの当日参加はできません。

参加ご希望の方は、慶應義塾大学 法学部・横山千晶 (chacky@keio.jp)まで申し込んでください。

●**なお、参加に当たっては、以下のことをお守りください。**

・マスクの着用 ・入室時の体温チェック ・手洗い ・手指の消毒

なお、当日体調のすぐれない方は、参加をお控えください。

主催 居場所「カドベヤで過ごす火曜日」運営委員会

慶應義塾大学教養研究センター

助成: 横浜市地域文化サポート事業・ヨコハマアートサイト 2020

ヨコハマ
アートサイト